

伝えたいのは隠された真実

丸2年の歳月をついやし
自分の眼で、耳で確かめた。



有名企業を取り巻く多くの裁判で勝ち続けてきた辣腕弁護士河合弘之。
しかし、河合の人生後半戦の一大事業と位置付けた原発訴訟は、負け続けだった。
何年続けても、どんなに方法論を工夫しても、勝てなかった。
逆襲弁護士と呼ばれるタフな河合だが、負け続ける原発訴訟にその闘志は弱まっていた。
そして、2011年3月11日。
東京電力福島第一原子力発電所で原子力発電史上最悪の事故が起きた。
河合は決心した。「絶対にあきらめない」。

これは、弁護士河合弘之と盟友弁護士海渡雄一、訴訟を共に闘う木村結の3人が
多くの関係者、有識者にインタビュー取材を行い、現地での情報収集や報道資料等を基に
事故に巻き込まれた人々の苦しみ、原発事故を引き起こした背景、
改善されない規制基準、エネルギー政策のウソと真実を追求したドキュメンタリーである。

「裁判はたったひとりでも正義をかけて闘える民主主義社会の安全弁みたいなものだ。
だから、僕はひとりでも闘う。でも、それだけじゃ、みんなに伝わらない。
ひとりでも多くの人に真実を伝えるには、やはり、映画しかない」(河合弘之)。

映画

「日本と原発」

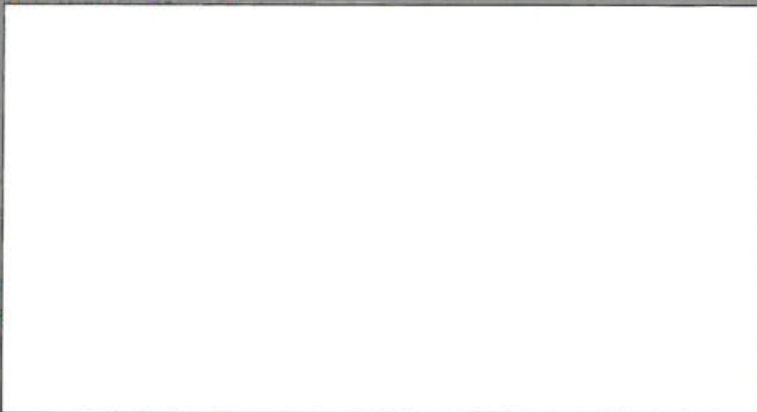
製作・監督:河合弘之 構成・監修:海渡雄一 制作協力:木村結 音楽:新垣隆
脚本・編集・監督補:拝身風太郎 制作:Kプロジェクト

■お話をうかがった方々:

青木秀樹 アナトリー・チュマク 飯田哲也 エフゲーニャ・ステパノフ
大島堅一 川口登 小出裕章 コンスタンティン・ログノフスキー
古賀茂明 鈴木大介 高野仁久 田中三彦 馬場有(敬称略)

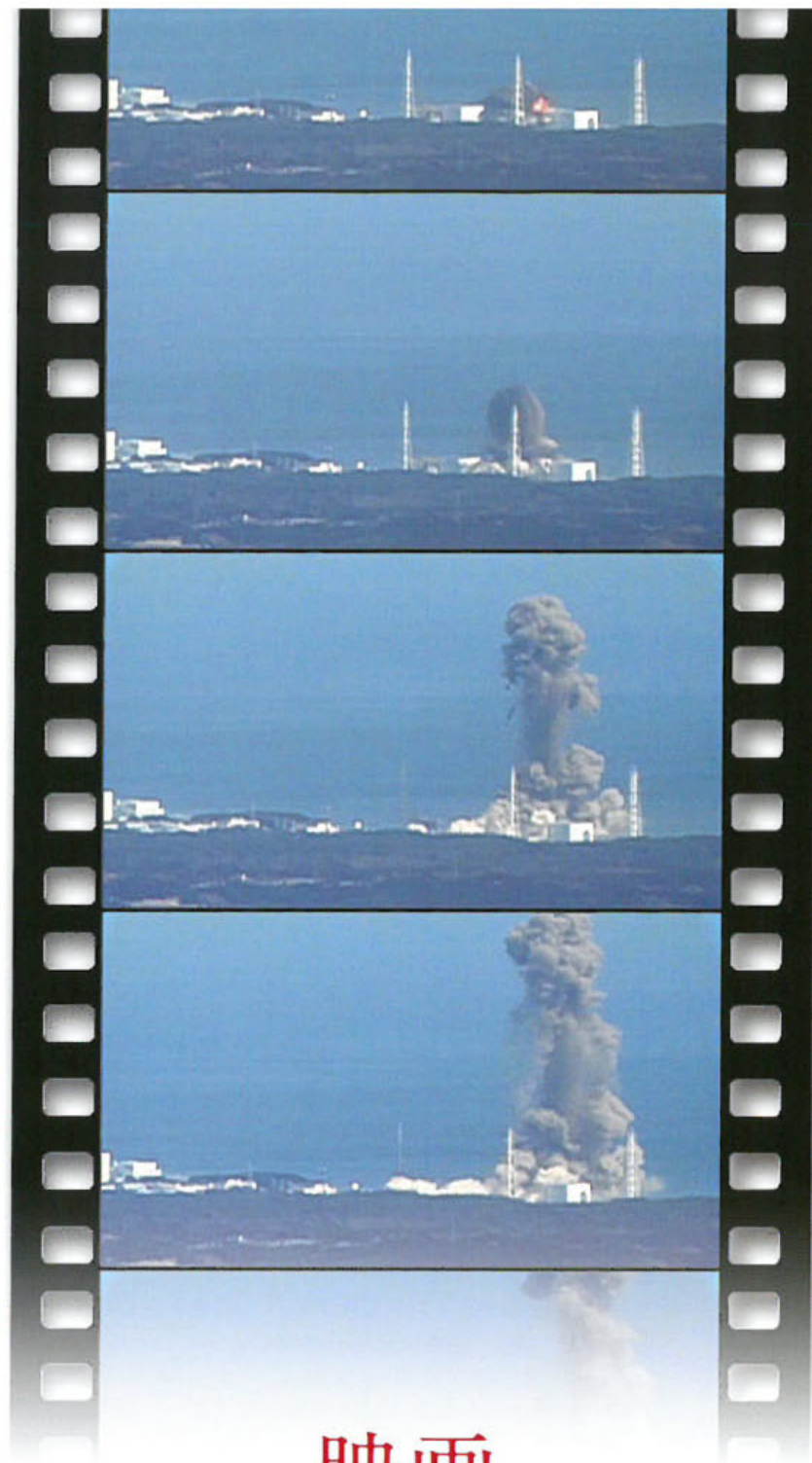
※この映画は、原発についての報道・広報に対する批判的検討をも目的としています。

■自主上映会のご案内



詳しくはwebで <http://www.nihontogenpatsu.com>
twitterID:日本と原発@K_Pro 2014 facebookID: facebook.com/KeiPro2014

なぜ、弁護士がドキュメンタリー映画を
作らねばならなかったのか？



映画

「日本と原発」

私たちは原発で幸せですか？

弁護士 河合 弘之 初監督作品

脱原発裁判の先頭に立つ弁護士が裁判闘争の限界を打破するために
あえて世に問う日本の原発のすべて！

監督／河合弘之

構成・監修／海渡雄一（弁護士）

音楽／新垣 隆